

施設名	七ヶ用水 大水門および給水口									
所在地	石川県 白山市									
管理者等	手取川七ヶ用水土地改良区									
施設種類・分野	河川	樋門・閘門								
施設概要 (明治期との関連含む)	洪水や濁水対策のため、後世に「明治の大改修」と呼ばれる七ヶ用水の取水口を一つにする大改修が行われ、「大水門」「隧道」「給水口」「幹線水路」が完成しました。その後、流域の田畑へ水を安定しておくるため、約140km水路が延長されています。(文献1より)		(文献1より)							
築造時期	明治後期		時期詳細	明治36年						
関連人物	ヨハネス・デ・レーケ									
関連企業	-									
トピックス (特徴的エピソード)	デ・レーケの指導の下で建設された高い石柱を持つ大水門と煉瓦巻きアーチの給水口であり、加賀平野を潤す七ヶ用水の要衝を担う。(文献2より)									
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	○	文化財 (文化庁)	-	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-	
その他 (関連資料、文献)	文献1: 疏水名鑑HP (https://www.inakajin.or.jp/portals/0/resource/sosui/ishikawa/a/40/) 文献2: 土木学会HP「七ヶ用水の解説シート」 (http://committeesjsce.or.jp/heritage/node/521)									
管理者等のHP (URL等)	-									